



山梨県における アレルギー疾患医療拠点病院の取り組み -行政との連携と活動報告-

山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター

櫻井 大樹

山梨大学医学部附属病院 アレルギーセンターについて

山梨大学アレルギーセンターについて

【設立】

2017年(H29)4月:

山梨大学附属病院にアレルギーセンターを開設

2018年(H30)6月:

山梨県アレルギー疾患医療拠点病院として、山梨県から指定

【アレルギーセンターの役割】

- アレルギー疾患を総合的に診断し、治療を行う
複数のアレルギー疾患に罹患している患者に適切な治療を提供する
- 地域のアレルギー診療体制の確立・地域連携・情報提供
- 総合的にアレルギーを診療できる医師の育成
- アレルギー研究の推進



アレルギーセンターの構成メンバー

耳鼻咽喉科頭頸部外科・
皮膚科・小児科・呼吸器内科・眼科・
免疫学・社会医学が参加

センター長
副センター長
副センター長
副センター長

櫻井大樹
中尾篤人
三井広
松岡伴和



櫻井大樹
センター長
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
教授



中尾篤人
副センター長
免疫学
教授



三井広
副センター長
皮膚科学
講師



松岡伴和
副センター長
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
病院准教授



大岡忠生
社会医学
准教授



池田久剛
山梨厚生病院小児科
臨床教授



小島令詞
社会医学
助教



星野佑貴
呼吸器内科
臨床助教



犬飼岳史
小児科
教授



柏木賢治
眼科学
教授



川村龍吉
皮膚科学
教授



副島研造
呼吸器内科
教授



原間大輔
新生児集中治療部
臨床助教



西澤琢磨
諏訪中央病院小児科
臨床助教



島村歩美
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
臨床助教



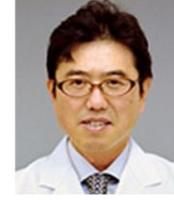
荒井秀寿
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
助教



丹澤雄一朗
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
臨床助教



増山敬祐
アレルギーセンター
エグゼクティブ・アドバイザー
諏訪中央病院耳鼻咽喉科
部長



上條篤
アレルギーセンター
エグゼクティブ・アドバイザー
上條アレルギー科耳鼻咽喉科医院
院長

アレルギーセンターの活動

- アレルギー疾患診療・院内活動
院内の食物アレルギー対応(カルテ改修)
アナフィラキシー対応マニュアルの作成
- ホームページによる情報の提供
- アレルギーセンター会議
症例検討
スタッフ向け勉強会
運営、専門研修、情報共有
- 県の委託事業の実施
市民講座・関係者向け講座・啓発活動
アレルギー疾患・診療の実態調査

アレルギーセンターの診療

アレルギーセンター外来

毎週火曜日の午後

耳鼻科、皮膚科、小児科、呼吸器内科が同じ時間で診療

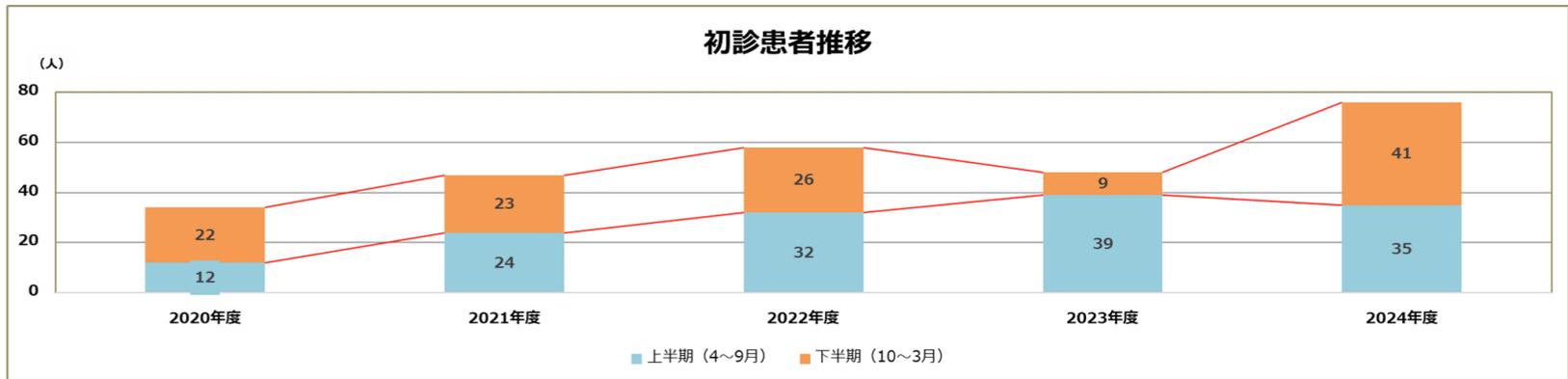
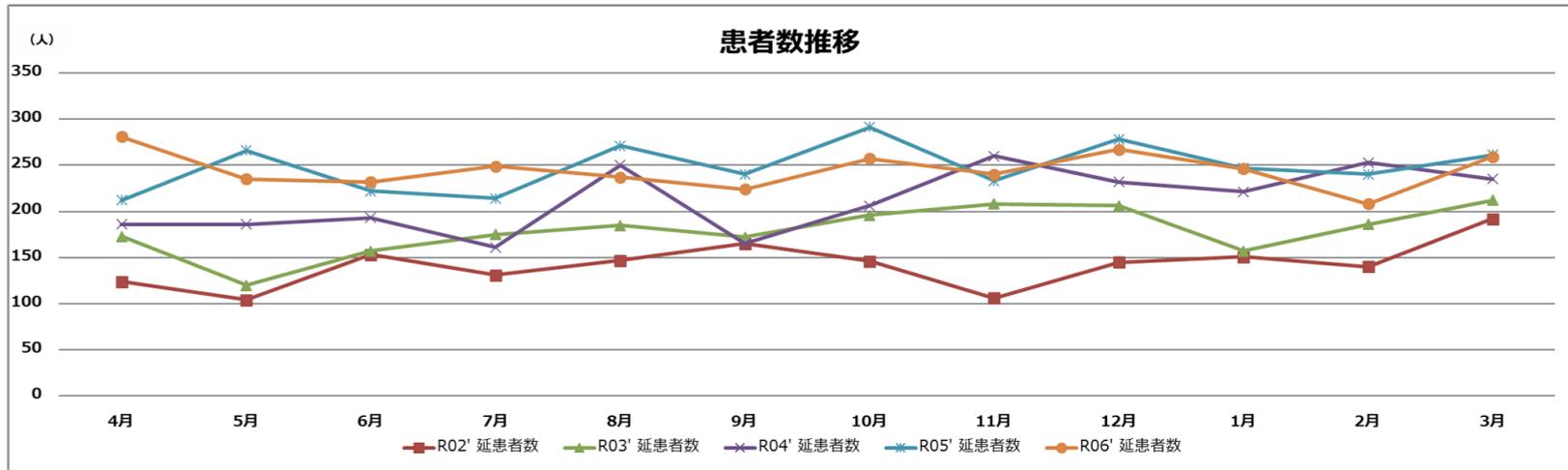
耳鼻科外来で初診受付、問診を行い、
疾患・症状により、上記複数科の診察を受けることができる



アレルギーセンターでの主な対応症例

- 複数のアレルギー疾患があり、総合的な治療を希望する症例
- コントロール困難なアレルギー疾患
(食物アレルギー、アナフィラキシー等)
- アレルギーの診断に迷う症例
- 食物アレルギーで負荷試験が必要な症例(小児)
- アレルゲン免疫療法の導入(皮下、舌下免疫療法)
- 生物学的製剤の必要な症例など

アレルギーセンターの患者数の推移



山梨県との連携 アレルギー疾患対策について

山梨大学アレルギーセンターの連携体制

山梨県アレルギー疾患対策協議会

地域の実態把握

施策の企画、立案、実施など

協議会委員(各機関代表 19名)

アレルギー疾患医療拠点病院

(アレルギーセンター長、副センター長)

アレルギー疾患専門医

地域医療機関

小児科

呼吸器科

眼科

県医師会

県歯科医師会

県薬剤師会

県看護協会

県栄養士会

学校関係(県教育委員会)

保育関係(県保育協議会)

幼稚園関係(私学教育振興会 幼稚園部会)

アレルギー疾患患者の家族

(アレルギーを考える母の会)

中核市(甲府市)

市(市長会代表)

町村(町村会代表)

保健所長会(保健所)

山梨県アレルギー疾患対策協議会（R7,7月）

3 議 事

- (1) 山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター診療実績報告等 資料1

- (2) 令和6年度の事業実施報告 資料2

- (3) 各関係機関の取り組みについて

- (4) 関係者向け研修会について 資料3

- (5) 県民向け市民講座について 資料3

各機関がアレルギーに関して抱える問題点について報告

特に、R6、R7は、保育園・幼稚園・栄養士会の代表から、各施設での昼食時の対応、アレルギー食対応の難しさ・苦勞が報告された

関係者向け研修会のテーマの案を検討した

アレルギー疾患対策委託事業

年度	事項	実施内容
H30	乳幼児におけるアレルギー疾患実態調査	県内の乳幼児及びその保護者を対象とし、アレルギー疾患の罹患状況やスキンケア、アレルギー食の状況について調査を行った。
	医療機関への実態調査	県内医療機関を対象に調査を実施し、アレルギー疾患の患者数やアレルギー疾患医療に関する取組状況について調査を行った。
R1	医療提供体制の調査、公表	県内医療機関を対象に調査を実施し、アレルギー疾患診療体制や食物経口負荷試験、アレルギー免疫療法を実施状況等について調査を行った。
	アレルギー疾患市民講座の開催	県民を対象に、アレルギー疾患に対する正しい知識の普及啓発、重症化予防に必要な自己管理などを盛り込んだ市民講座を開催する計画としていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止せざるを得ない状況となり、開催できなかった。
	医療従事者研修会の開催	県内の医療従事者等を対象にアレルギー疾患に関して、厚生労働省推奨のリウマチ・アレルギー疾患に関わる診療ガイドラインに沿った診療のあり方、及び、アレルギー5疾患を含むアレルギー疾患の基礎知識を踏まえた研修会を開催する計画としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できなかった。
R2	-	新型コロナウイルス感染症の流行のため未実施
R3	医療提供体制の調査、公表	県内医療機関を対象に調査を実施し、アレルギー疾患への対応状況とコロナ禍におけるアレルギー疾患医療への影響、アレルギー疾患患者の受診動向および症状の変化に関する調査を行った。県内医療機関のアレルギー診療体制等の情報について更新し、県民向け医療提供情報として発信する。
	アレルギー疾患市民講座の開催、医療従事者研修会の開催	県民を対象に、アレルギー疾患に対する正しい知識の普及啓発、重症化予防に必要な自己管理などを盛り込んだ市民講座を開催した。当初対面での公開講座を企画したが、コロナの感染拡大状況を鑑み、オンラインによるオンデマンド形式での開催とした。医療従事者に対しても参考となる内容とした。（テーマ：花粉症、蕁麻疹、食物アレルギー）
R4	医療提供体制の調査、公表	県内医療機関を対象にした調査結果について、アレルギーセンターホームページ内にアレルギー疾患に対応可能な医療機関リストを公表した。
	アレルギー疾患市民講座の開催	県民を対象に、アレルギー疾患に対する正しい知識の普及啓発、重症化予防に必要な自己管理などを盛り込んだ市民講座をオンデマンドサイトの公開を行った。
	医療従事者研修会の開催	県内の医療従事者等を対象にアレルギー疾患に関して、厚生労働省推奨のリウマチ・アレルギー疾患に関わる診療ガイドラインに沿った診療のあり方、及び、アレルギー5疾患を含むアレルギー疾患の基礎知識を踏まえた研修会を開催する計画として、コロナの感染拡大状況を鑑み、WEB開催とした（テーマ：食物アレルギーの診断）
R5	乳幼児におけるアレルギー疾患実態調査	県内の乳幼児及びその保護者を対象とし、H30年同様アレルギー疾患の罹患状況やスキンケア、アレルギー食の状況について調査を行った。
	医療機関への実態調査	県内医療機関を対象に調査を実施し、H30年同様アレルギー疾患の患者数やアレルギー疾患医療に関する取組状況について調査を行った。
R6	山梨県内の医療機関へアレルギーセンターの周知と医療機関リストの更新	山梨県内の医療機関にけるアレルギーセンターの認知度を高めるため、パンフレットを作成し山梨県内の医療機関に配布した。令和4年度以降に開設された医療機関を対象に調査を行い、アレルギー疾患に対応可能な医療機関リストを更新しアレルギーセンターホームページ内に公開した。
	アレルギー疾患市民講座の開催	県民を対象に、アレルギー疾患に対する正しい知識の普及啓発、重症化予防に必要な自己管理などを盛り込んだ市民講座を実施した。さらに、富士吉田市で起きた小・中学校の給食むわアレルギーについて調査を行い、情報を市民へ還元するべく市民講座を行った。
	医療関係者研修会の開催	県内の医療関係者（保健師、栄養士、保育士、養護教諭等を含む）を対象に、アレルギー疾患の基礎知識や対応について研修会を開催した。
R7	アレルギーセンターやアレルギー疾患に関する医療機関の周知、紹介	山梨県内におけるアレルギーセンターの認知度を高めるため、パンフレットを作成し配布を行う。方法の詳細については現在計画中であり、山梨県内の行政機関や教育機関を介して広く配布する予定である。
	アレルギー疾患市民講座の開催	県民を対象に、アレルギー疾患に対する正しい知識の普及啓発、重症化予防に必要な自己管理などを盛り込んだ市民講座を実施する予定である。
	アレルギー疾患関係者研修会の開催	県内の医療関係者（保健師、栄養士、保育士、養護教諭等を含む）を対象に、アレルギー疾患の基礎知識や対応について研修会を開催する予定である。特に各教育機関はいろいろな問題を抱えており、山梨県の施策に反映できるような情報収集も行いたい。

令和6年度 アレルギー疾患対策事業

令和6年度アレルギー疾患対策 県の委託事業

● 市民公開講座の開催

一般県民を対象としたアレルギー疾患に関する啓発イベントを実施

● 教育・保育現場を対象とした勉強会の開催

学校や保育園・幼稚園の教職員を対象に、アレルギー児童への対応力を高めるための勉強会を開催

● 県内アレルギー疾患の実態調査と社会発信

富士吉田市の給食におけるびわアレルギーの実態調査を実施し、市民への報告会と疾患の啓発、メディアを通じた周知を実施

● 医療機関向け紹介パンフレットの作成・配布

アレルギーセンターのさらなる周知・活用を促すため、県内の医療機関を対象とした広報・普及活動を展開

● 県内医療機関の診療体制の調査と公開

アレルギー疾患の診療体制に関する調査を実施し、HPに公開

市民講座

第31回アレルギー週間山梨地区イベント

山梨アレルギー 市民フォーラム 2025

参加
無料

事前予約不要

日時/2025年3月9日(日)
10:00~12:00

場所/山梨県立図書館 多目的ホール
〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8番1号 電話055-255-1040

司会 **櫻井大樹** 山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

講演 **口腔アレルギー症候群ってなに？**
～花粉症と果物アレルギーの関係について～
演者：**松岡伴和** 山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

講演 **アレルギーが起きたらどうする？**
～救急時の対応について～
演者：**池田久剛** 山梨厚生病院小児科

講演 **アトピー性皮膚炎の最新治療**
～子供から大人まで、アトピー性皮膚炎を
治せる時代がやってきた～
演者：**三井 広** 山梨大学医学部皮膚科

【お問い合わせ】山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局 電話 055-273-6769

共催：山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター、山梨県、公益財団法人日本アレルギー協会
後援：厚生労働省、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本アレルギー学会

市民公開講座の実施概要

- 開催目的
アレルギー疾患への正しい知識の普及、自己管理の徹底、および適切な受診行動の啓発
- 開催場所：山梨県立図書館
- 主な講演テーマ(3演題)
 1. 口腔アレルギーの病態と山梨県内の実態
 2. 小児食物アレルギー発症時の緊急対応
 3. 最新のアトピー性皮膚炎治療
- 参加者：31名

教育・保育現場を対象とした勉強会

第1回 山梨アレルギーシンポジウム

第1回 山梨アレルギーシンポジウム

日時：令和7年2月1日(土) 14:00~16:00

会場：山梨大学 玉穂キャンパス 臨床講義棟 臨床大講堂

※参加費無料・当日Zoom配信あり(下記)

基調講演

座長：山梨大学 医学部 附属病院 アレルギーセンター 櫻井大樹 先生

口腔アレルギー症候群について

山梨大学 医学部 附属病院 アレルギーセンター 松岡伴和 先生

食物アレルギーについて

山梨厚生病院 小児科 池田久剛 先生

シンポジウム

「山梨県の教育現場における

アレルギー疾患対策の工夫と課題」

司会 山梨大学 医学部 附属病院 アレルギーセンター 櫻井大樹 先生

山梨厚生病院 小児科 池田久剛 先生

甲斐市立双葉西小学校 信田 みのり 先生

シンポジスト 山梨市立八日市場保育園 飯島 久美子 先生

認定こども園 貢川幼稚園 深沢 真美 先生

Zoom 配信(事前登録不要)

<https://zoom.us/j/91902986158>

ミーティング ID: 919 0298 6158

パスコード: 027348



本件に関するお問い合わせ

山梨大学医学部附属病院

アレルギーセンター

担当：松岡伴和

TEL 055-273-6769

※研修会終了後、2ページ目のQRコードよりアンケートにご協力ください

● 開催の背景

学校・保育園・幼稚園の現場が抱える

給食での食物アレルギー対応への不安を
解消するため

● 実施内容

各施設での対策や工夫、課題の発表、および
参加者同士によるディスカッションを実施

● 参加状況と成果

約30名が参加。情報交換を通じて、今後の対応を検討する貴重な機会となった。

富士吉田市の給食びわによる口腔アレルギーに対し 実態調査を実施



給食のびわでアレルギーか 児童ら126人症状訴え 山梨 富士吉田

2024年6月26日 6時14分

2024年6日 富士吉田市の小中学校の給食に生のびわが提供されて、多くの生徒にアレルギー症状が出現した。

これを受けて、アレルギーセンターとして、山梨県と富士吉田市教育委員会・医師会などの協力を得て、2024年11月、生徒の保護者にアンケート調査を実施した。

結果、2360人の回答が得られ、生徒の約15%(264人)にアレルギー症状があり、カバノキ科花粉感作と関連するビワによる口腔アレルギーと考えられた。

(調査結果は,Allergy.2025に報告)

富士吉田市の給食びわによる口腔アレルギーに対する調査結果報告会および啓発活動

2025年2月23日 報告会実施
山梨県、富士吉田市の共催にて、
富士吉田市ふじさんホールで実施

1) プレスリリースの実施
報道機関向け説明会
(テレビ、新聞社 数社が報道)

2) 結果説明会と市民講座の実施
調査結果説明、口腔アレルギーについての講演を行った。

富士吉田市小中学校の保護者・生徒、市民、学校関係、
教育委員会、市議会議員、医師会、県関係者、報道機関など
100人以上が参加



令和7年度 アレルギー疾患対策事業

教育・保育現場を対象とした勉強会 第2回 山梨アレルギーシンポジウム

- 教育機関でアレルギー疾患児童への対応を充実できるよう、講演と、保育園、幼稚園の管理栄養士・栄養士さんによる発表とディスカッションによる勉強会を開催した。
- (2025年11月29日 学内シミックプラザ)



第2回 山梨アレルギーシンポジウム

参加費
無料

令和7年11月29日(土)

14:00 ▶ 16:00

会場 山梨大学 玉穂キャンパス シミックプラザ

[基調講演]

座長：山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター 櫻井大樹 先生

保育学校現場での食物アレルギー対策

山梨厚生病院 小児科 池田久剛 先生

[シンポジウム]

「山梨県における

アレルギー対応食をめぐる工夫と課題」

司会 山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター 櫻井大樹 先生

山梨厚生病院 小児科 池田久剛 先生

シンポジスト

山梨学院クッキングハウス 管理栄養士

櫻林ひかる 先生

石和東こども園 栄養士

山下 博子 先生

山梨県教育庁保健体育課 副主幹・指導主事

清水美恵子 先生

本件に関するお問い合わせ

山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター

☎ 055-273-6769

担当：松岡伴和

市民講座 啓発パンフレットの配布

- 県内の一般市民を対象に、市民公開講座を開催予定
(2026年2月8日予定、イオンモール)
- アレルギー疾患と対応を知ってもらうため、県民に活用していただけるよう、疾患啓発パンフレットを作成し、県内の医療機関・公共施設へ配布する。
(作成中)



知って安心!
子どものアレルギーと
その対策

第32回アレルギー週間山梨地区イベント

山梨アレルギー市民フォーラム2026 参加無料
事前予約不要

日時/2026年2月8日(日) 14:00~16:00
場所/イオンモール甲府昭和 3F イオンホール

司会: 櫻井大樹 山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

講演  **食物アレルギーは予防できる、治せる時代に
~今、知っておきたい最新情報~**
演者: 原間大輔 山梨大学医学部小児科

講演  **子どもの肌トラブル、もしかしてアトピー?
~知って欲しいアトピー性皮膚炎のこと~**
演者: 三井 広 山梨大学医学部皮膚科

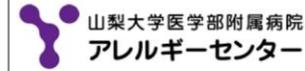
講演  **花粉とハウスダストに負けない!
小児アレルギー性鼻炎の正しい知識**
演者: 松岡伴和 山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

【お問い合わせ】山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局 電話 055-273-6769

共催: 山梨大学医学部附属病院アレルギーセンター、山梨県、公益財団法人日本アレルギー協会
後援: 厚生労働省、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本アレルギー学会

アレルギーセンターの ホームページについて

山梨大学アレルギーセンターHP



アクセス お問い合わせ プライバシーポリシー

お知らせ イベント センターの概要 予約・診療 スタッフ紹介 疾患別メニュー

ALLERGY CENTER
YAMANASHI UNIVERSITY OF HOSPITAL

多岐にわたるアレルギー疾患を

高い診療レベルで総合的に

管理・治療することを目的に設立されました。

当センターは大学に設置されることから、山梨県における総合アレルギー科医の育成の任務、さらにはアレルギー学の発展も担っております。



当初、モデル事業で開始
現在、病院で維持

総アクセス数
34万件(2024年度)



山梨県内のアレルギー疾患に対応可能な医療機関リストはこちら (Exceファイルファイル40KB) >

News/Event

新着

お知らせ

イベント

開催日: 2025/03/09 イベント 終了

第31回アレルギー週間山梨地区イベント
山梨アレルギー市民フォーラム
2025

公開日: 2025/02/25 お知らせ

正しく知ろう口腔アレルギー! ~富士吉田市の小学生・中学生の給食びわによるアレルギー調査結果説明会を行いました。

2025年2月23日に正しく知ろう口腔アレルギー! ~富士吉田市の小学生・中学生の給食びわによるアレルギー調査結果説明会~を行いました。山梨大学医学部附属病院アレルギーセンターでは、山梨県や富士吉田市と協力し、富士吉田

開催日: 2025/02/01 イベント 終了

第1回山梨アレルギーシンポジウム

アレルギーに関するキーワードを入力し「検索」ボタンをクリックしてください。

閉じる

検索

- 朝と夜だけ鼻水がとまりません。鼻炎でしょうか?
- アレルギーがあるかわかりませんが、検査はどこで受けられますか?
- 小麦アレルギーでも麦茶は飲ませてよいのでしょうか。
- アナフィラキシーではないのに誤ってエピペンを使った場合、どのような反応が起こるのでしょうか。後遺症が残ったり、生命に関わったりすることはないのでしょいか。
- アナフィラキシーは、何科にかかれば良いのですか?

Q&Aをもっと見る



県内医療機関のアレルギー疾患対応の調査と情報公開

県内すべての医療機関にアンケートを実施、対応可能な214施設を公開

- ・医療機関ごとに対応できるアレルギー疾患を一覧として紹介
- ・喘息発作・アナフィラキシーへの救急対応状況なども記載



施設名	住所	専門診療科	診療に対応しているアレルギー疾患										
			成人気管支喘息	小児気管支喘息	アトピー性皮膚炎	蕁麻疹	成人食物アレルギー	小児食物アレルギー	アレルギー性鼻炎	薬剤アレルギー	金属アレルギー	アレルギー性結膜炎	
214施設の 対応状況を公開	3- 内科	1- 形成外科	○			○				○			○
		1- 整形外科, 外科				○				○			○
		1- 内科, 小児科	○	○	○	○	○			○	○		
		3- 耳鼻咽喉科, アレルギー科								○			
		眼科											○
		内科, 精神科・心療内科	○	○	○	○				○			○
		1- 内科, 整形外科	○			○				○			○
		3- 皮膚科				○	○						

2025年2月23日に正しく知るうら口腔アレルギー1～3

患者さんが対応する医療機関を探す、医療機関が紹介先を探すことができる

問題点・課題など

- ①アレルギー総合診療に十分な体制が確立できていない
→アレルギー専門医の育成を進めていく
- ②食物アレルギー・アナフィラキシーの症例が増えているが、
成人の全身アレルギーに十分対応できていない
→対応できる医師を増やす
- ③外来診察室の統合
同じ時間に診察しているが、各科診察室に分かれている
→新外来棟の完成後に、センター外来として統合し集約を予定
- ④ホームページ内の情報のアップデート

まとめ

山梨県におけるアレルギー疾患医療拠点病院の取り組みについて
特に、行政との連携とその活動について報告した

山梨大学附属病院アレルギーセンターは、
診療とともに、県のアレルギー疾患対策を担っている

県内の実態に基づき、疾患とその課題に対応していく

難治性アレルギー疾患も増えており、診療体制のさらなる整備が課題